目　次

企業局の紹介
- 企業局のあらまし…………………… 3
- 施設等の配置図……………………… 4

電気事業
- 電気事業のあらまし………………… 5
- 胆沢第二発電所……………………… 6
- 胆沢第四発電所……………………… 6
- 胆沢第三発電所……………………… 6
- 岩洞第一発電所……………………… 8
- 岩洞第二発電所……………………… 8
- 解説 かんがい事業における企業局の役割…… 10
- 仙人発電所…………………………… 12
- 四十四田発電所……………………… 13
- 御所発電所…………………………… 14
- 滝発電所……………………………… 15
- 北ノ又発電所………………………… 16
- 北ノ又第二発電所…………………… 16
- 北ノ又第三発電所…………………… 16
- 入畑発電所…………………………… 18
- 松川発電所…………………………… 19
- 早池峰発電所………………………… 20
- 柏台発電所…………………………… 21
- 簗川発電所…………………………… 22
- 稲庭高原風力発電所………………… 23
- 相去太陽光発電所…………………… 24
- 星風の丘（高森高原風力発電所）… 25
- 解説 電気をつくる …………… 26

工業用水道事業
- 工業用水道事業のあらまし………… 27
- 北上中部工業用水道
  - 第一浄水場、第三浄水場………… 28
  - 第二浄水場………………………… 29
  - 新北上浄水場……………………… 30
- 解説 工業用水道のしくみ …… 31

施設総合管理所…………………… 32
県南施設管理所…………………… 33

企業局のあゆみ…………………… 34

企業局の紹介

企業局のあらまし

岩手県企業局は、昭和30年10月１日に電力局として発足し、電気事業に着手しました。昭和32年10月には、最初の発電所として胆沢第二発電所が完成・営業運転を開始し、その後、岩洞第一・第二発電所、仙人発電所、四十四田発電所が順次営業運転を開始してきました。

昭和43年４月には電力局を企業局に改組し、本県の恵まれた美しい自然と豊かな資源を活用した観光振興の機運が高まる中で、観光施設事業及び有料道路事業をも経営することとなりました。なお、観光施設事業は昭和53年度に、有料道路事業は平成３年度に廃止しています。

また、昭和51年１月には、工業振興の一環として北上中部工業用水道事業に着手し、今日の電気事業、工業用水道事業の基礎が築かれるところとなりました。

電気事業は、20か所の発電所（水力17か所、風力２か所、太陽光１か所）を有し、その最大出力は175,770キロワットであり、全国公営電気事業者の中でも有数の規模を誇っています。

工業用水道事業は、企業誘致と雇用を促進するため、北上工業団地（北上市）及び岩手中部工業団地（金ケ崎町）に給水しており、給水能力は、全体で日量約5.4万立方メートルを有しています。

企業局の施設

☆電気事業を行っている施設

胆沢第二発電所 胆沢第四発電所 胆沢第三発電所
岩洞第一発電所 岩洞第二発電所
仙人発電所
四十四田発電所
御所発電所
滝発電所
北ノ又発電所 北ノ又第二発電所 北ノ又第三発電所
入畑発電所
松川発電所
早池峰発電所
柏台発電所
簗川発電所
稲庭高原風力発電所
相去太陽光発電所
高森高原風力発電所

☆工業用水道事業を行っている施設

北上中部工業用水道
- 第一浄水場
- 第二浄水場
- 第三浄水場
- 北上ろ過施設
- 金ケ崎ろ過施設

☆発電所や工業用水道施設の運転監視・保守を行っている施設

施設総合管理所
県南施設管理所